

病害虫発生予察情報 2月予報 概要版 (令和8年2月9日発表)

群馬県農業技術センター（病害虫防除所）

★気象の1か月予報（令和8年2月5日 気象庁発表）

- ・平年と比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・平均気温は高い確率50%、降水量は平年並または少ない確率ともに40%、日照時間は平年並または多い確率ともに40%です。

★2月の病害虫予報 注目ポイント！！



イチゴ ハダニ類・・・発生量：やや多い

今までの発生量は平年並ですが、一部でやや多くなっています。

発生量が多くなると防除が困難となるため、早期発見・早期防除に努めましょう。



施設果菜類 アザミウマ類・・・発生量：並

果実への吸汁加害や、黄化えそ病を媒介します。

今までの発生量は平年並ですが、気温の上昇により発生が多くなるため注意しましょう。



キュウリ・トマト コナジラミ類・・・発生量：並

トマト黄化葉巻病、トマト黄化病、キュウリ退緑黄化病を媒介します。

今までの発生量は平年並ですが、発生しやすい気象が予報されているため、早期発見・早期防除に努めましょう。



裏面へ続く



【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	発生量	特記事項
施設果菜類	灰色かび病	並	現在までの発生量は平年並。多かん水を避け、循環扇や暖房機等を用いた通風を行うなど、施設内の湿度低下に努める。
	うどんこ病	並	現在までの発生量は平年並。多発してからの薬剤散布は効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除する。
イチゴ	アブラムシ類	並	現在までの発生量は平年並であるが、施設内でスポット的に発生している例が見られる。発生が多くなると防除が困難となるため、早期発見・早期防除に努める。

！アザミウマ類の発生に要注意！

- ・生育適温（25℃）では増殖スピードが速いため、ほ場をよく観察し、早期防除に努めましょう。
- ・アザミウマ類は、多くの農作物に発生し、作物ごとに発生する種、被害が大きい種が異なります（表1）。
- ・種によって感受性が低下している薬剤が異なりますので、効果のある薬剤を選択しましょう。

表1 主なアザミウマ類と寄主作物

寄主作物 (主な施設果菜類)	ヒラズハナ アザミウマ	ミカンキイロ アザミウマ	ネギアザミウマ	ミナミキイロ アザミウマ
イチゴ	○	◎	○	
キュウリ	◎	◎	○	◎
トマト	○	○	○	
ナス	◎	◎	○	◎

※ ◎：被害程度大きい、○：被害あり、空欄：被害なし

※ 引用：アザミウマ防除ハンドブック（農文協）



詳しい予報、注意報、病害虫情報はこちらから
(病害虫発生予察情報一覧へリンク)

- ・農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。
- ・散布器具に残っていた農薬が原因で、生産物に基準値を超えた農薬が残留した事例があります。散布使用後の器具洗浄を徹底しましょう。